

Calendar table with columns for months (5月 to 10月) and sub-columns for旬 (下, 上, 中). It details the growth phase (生育相), water management (水管理), and main tasks (主な作業) such as seedling raising, transplanting, and harvest. It also includes a section for pest control strategies (病害虫防除対策) categorized by powder, liquid, and granular systems.

※いもち病対策 コラトップ粒剤5 3~4kg/10a 多発生が予想される場合は、葉いもち発生前散布(初発10日前~初発時)が効果的。出穂5日前まで
※コブノメイガ対策 トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 収穫7日前まで、もしくはトレボン乳剤 60~150ℓ/10a 1000倍 収穫14日前まで

土づくり

Table for soil preparation (土づくり) listing objectives (目的) and materials (資材) such as organic matter, mineral G, and silicate.

※地力増進のため麦わら・稲わらは全量すき込みましょう。

種子消毒

Table for seed disinfection (種子消毒) showing seed weight, water volume, disinfectant, usage, time, and target diseases.

※浸漬中に2回の攪拌を行う。
※種子消毒後は水洗いせずに、その後停滞水につけ1日1回水を換え、芽出しを行う。

施肥基準

◎ヒノヒカリ

Fertilization standard table for Hinohikari, showing base fertilizer and topdressing amounts for different rice types.

◎実りつくし

Fertilization standard table for Umritsumushi, showing base fertilizer and topdressing amounts.

※穂肥の2回目は1回目の7日後。

品種特性表

Table of variety characteristics (品種特性表) listing traits like maturity, yield, and disease resistance for Hinohikari and Umritsumushi.

※実りつくしは、いもち病に弱いので適期防除に努める。

農薬使用上の注意

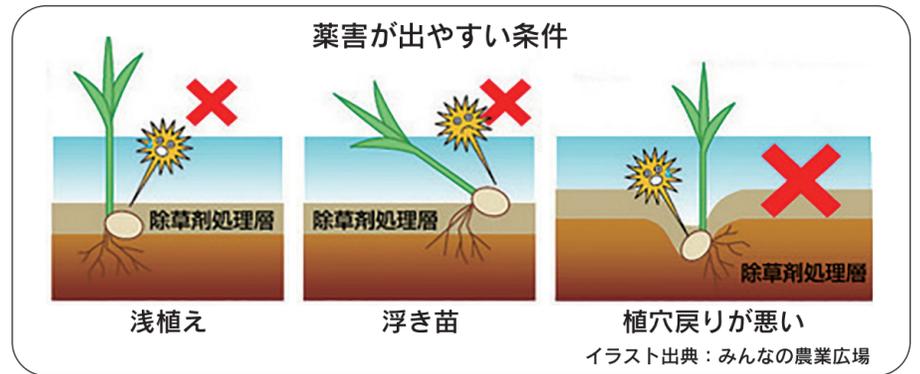
- ① 粉剤は散布後、殺菌剤で6時間、殺虫剤で3時間以内に降雨にあった場合は効果が劣るので天候に注意して散布しましょう。
② 農薬によるミツバチへの危害防止のため、稲の開花期に農薬の使用は避けましょう。
③ 安全・安心な農産物を確保するため以下のことに注意しましょう。
・この暦は、令和8年1月時点の登録情報に基づいて作成しています。
・農薬の登録内容は随時変更されますので、使用時はラベルを確認し、使用基準を遵守しましょう。
・周辺作物へ農薬の飛散がないように注意しましょう。
※収穫前に栽培日誌の提出をお願いいたしますので、農薬による防除を行った場合必ず記入して下さい。

一般水田雑草除草剤使用基準

◎初・中期一発除草剤

Table for initial/intermediate one-time weed control agents, listing agent names, usage rates, and application periods.

除草効果をも高めるため、3,4日間湿水状態とし、散布後7日間は落水・かけ流しはしない。



◎中・後期除草剤

Table for middle/late weed control agents, listing applicable weeds, agent names, usage rates, and application methods.

- ① 薬剤ごとに適用葉齢、水管理、使用時期が異なるのでラベル等をよく読んで使用して下さい。
② 効果を高めるため3~5日間は散布時の状態を維持する。降雨があっても7日間は落水しない。
③ ロイヤント乳剤を落水散布した場合、早め(3日以内)に入水して下さい。

米は全量JAへ

JA米の要件
・銘柄が確認できた種子により生産された米穀
・登録検査機関で受検した米穀
・生産履歴記載が確認された米穀
「JA米とそれ以外を区分してJAに出荷しましょう」
令和8年2月作成